

青少年ふれあい運動「全体のつどい」開催！ ～地域で子どもを育てるために何ができるか～

11月30日（土）、流山市文化会館大ホールで、青少年ふれあい運動「全体のつどい」が開催されました。今年度は、「地域の大人として子ども達の健全な育成のために何ができるか」をテーマに、第一部として、青少年店舗利用状況調査の報告、第二部は講演会・パネルディスカッションを行い、地域の皆さんと一緒に子育てについて考えていく会として行われました。

第一部の青少年店舗利用状況調査では9月、10月に実行委員の方々が、各地域の店舗を回り、聞きとり調査やアンケート調査をまとめた結果について市全体の様子を、おおたかの森地区の実行委員2名が報告を行いました。

毎年行われている報告ですが、参加者からは、「分かりやすかった」「このような取り組みがあることを初めて知った」「今後も続けてほしい」などの感想が寄せられていました。

第二部の講演会では、放課後NPOアフタースクールの本部マネージャー正村絵理さんから、現在の子ども達が望んでいること、アフタースクールでの実践例、大人がどう子ども達に関わっていくことが必要なのか、などの内容が話され、「親として参考になった」という感想が多く寄せられていました。また、今年度初めての試みであるパネルディスカッションでは、実際に流山市で子ども達に関わる取り組みを行っている5人の方々にパネラーとなって登場してもらい、日頃の活動を中心に地域での子育てについて話をさせていただきました。なかなか皆さんに知られていない事も多く、パネルディスカッションを行うことで、広く知ってもらう機会となりました。

平成27年度から5年続いた「全体のつどい」は今年度でいったん区切りをつけ、来年度からは活動を地区に戻して行われます。それぞれの地区に課題があるので、これからはその課題に向けて、地区の中でじっくりと取り組む時間として「つどい」が行われることとなります。

